

戦争の悲しみを忘れず、恒久平和を願う

～ 令和4年度東通村戦没者追悼式 ～

終戦から77年目を迎え、第69回東通村戦没者追悼式が9月16日、村体育館山手に建立されている戦没者慰霊碑前で厳かに行われました。

追悼式は先の大戦で犠牲となった、二百余柱の戦死者の英霊を追悼するとともに、併せて、世界の恒久平和を願い行っているものです。

式典では、参列者全員で黙祷を捧げた後、畑中稔朗村長、丹内俊範村議会議長の追悼のことばの後、川端孝悦村遺族会長が「戦争によって最愛の肉親を失った遺族にとって、癒されることのない悲しみは、言葉では語り尽くせないほど、深くつらいものでした。再び悲惨な戦禍を繰り返すことなく、世界の平和、命の大切さをコロナ禍であっても着実に後世に受け継いでいくため、たゆまぬ努力を続けますことを遺族一同ここにお誓い申し上げます」と追悼のことばを述べました。

その後、参列者一人一人が二百余柱の英霊に白菊の献花を行い戦没者の冥福を祈り、平和を誓いました。



畑中村長



川端村遺族会長



丹内村議会議長

青森県遺族連合会創立75周年記念県知事表彰

東通村遺族会の相内正幸氏（老部）、小林義明氏（白糠）、佐藤榮子氏（稲崎）の3名が県知事表彰を受賞されました。

三人はこれまで東通村遺族会の会長を歴任され、戦没者遺族の援護及び福祉向上に永年貢献し、その功績が顕著であると認められての表彰となりました。



相内 正幸 氏



小林 義明 氏



佐藤 榮子 氏